農林水産大臣
江藤　拓　殿

令和７年２月 28 日

米の供給･価格の安定に向けた要請

公明党　農林水産業活性化調査会
会長　谷合　正明
公明党　農林水産部会
部会長　角田　秀穂

昨年来、スーパーでの米の販売価格は昨年の 1.9 倍に達するなど、現下の精米販売価格は異常な値動きを見せている。我が国経済においては、米を含む食料品の価格高騰が消費者マインドを下に押している状況である。政府はこの度、公明党の提案・要請を受けて、政府備蓄米の買戻し条件付き売渡しを決定したが、今後の流通の目詰まり早期解消ならびに生産者、消費者双方にとって納得できる価格の実現に向けて、以下、要請するものである。

記

１．効果が一日も早く現れるよう公告、入札等の手続きの迅速化を図ること。
２．備蓄米の提供に地域差が生じるなど不公平な流通により新たな問題が生じないよう十分配慮するとともに、対策の効果検証を行うこと。
３．今後の運用に際しては生産者・消費者双方にとって納得できる価格となるよう機動的な取り組みを行うこと。また、生産者から消費者、国民の食料システム全般の理解と協力が得られるよう、農水省として適時適切な発信、働きかけを行うともに、再生産可能な水田政策や制度改革について不断の検討、推進を図ること。
４．効果検証を踏まえ、発動基準の在り方についても検討すること。
５．米の小売り価格、販売量について、リアルタイムでの情報収集に努め、投機的な動きによる流通の目詰まりの兆候を察知した際は、躊躇なく必要な対策を講じること。

以　上